



あけましておめでとうございます



本年もどうぞよろしく願いいたします。

最初から最後までコロナ禍に覆われた 2021 年をざっと振り返り。【春】ドイツの学校制度改革を素材にした研究で論文博士（東京学芸大学連合大学院）、現在出版準備進行中。30 年遅れの仕事、しかもあとからあとから不十分な点ばかりが目につきますが、ともあれ一つの区切り。【夏】様々に議論

を呼んだ東京オリンピックでボランティア・デビュー、しかしその中身は観客の入らない埼玉スーパーアリーナでそれほどバスケットに関心がないのに世界最高レベルの試合を無料で眺める時間に。世の中不条理。

【秋】腎臓結石を体外衝撃波で砕くという切ったり縫ったりしない手術、初めて入院も経験（一泊だけ）。まったくの重大事案ではありませんが、健康の重要性を再認。【講義】オンライン中心の講義も慣れてくれば準備も楽しい（マイクもライトも買いました）。顔の見えない関係の中でどうやって双方向的な絆を作ることができるのか、大学の講義の存在意義を考え直す一年。

現在の職場に移ってちょうど 12 年が過ぎ、二月には還暦を迎えます。SSW や中途入職教員の研究も日独比較をベースに少しずつ進めていると書きたいところですが率直に言って停滞中。いつまでもそんなこと言っていられません。先行き予断を許しませんが、昨年よりは良い年になると信じつつ、もう一步、前に進みたいものです。皆様におかれましても、どうぞご自愛の上、益々のご活躍を。

2022 年元旦



184-8501 東京都小金井市貫井北町 東京学芸大学
次世代教育研究センター maehara@u-gakugei.ac.jp

前原 健二

